

令和7年度「シラバス」 教科：工業 科目：製図

単位数	3	学科（型） 学年	建設工学科(建築型) 3年	教科書 副教材等	建築設計製図（実教出版）
学習目標		建築設計製図は、建築計画・建築構造・建築構造設計・建築施工・建築法規など各科目の基礎知識が必要な科目であることを理解し、建築に関する基礎知識を、総合的にまとめる能力を身に付ける。 一定の規則・記号に従い、正確ではっきりと合理的に表され、誰が見ても同じように理解され、設計者が意図するとおりの建築物が施工される図面製作を目指す。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	鉄筋コンクリート構造の設計製図			・鉄筋コンクリート構造の基本的仕組と構成部材を学習する。そして、設計順序・方法を理解させ、建築物を美しく合理的に設計する技術を身に付ける。 ・鉄筋コンクリート構造の製図例を模写しながら、平面図・立面図・断面図のかき方を学習する。	
2	卒業設計 ・テーマの設定 ・プランニング ・平面図製作 ・立・断面図製作			・卒業設計として、鉄筋コンクリート構造の建築物を設計する。 ・テーマや用途等の設定を行い、作品完成までの計画を立てる。 ・高校生らしい提案をするとともに、建築物としての合理性・安全性・合法性等についても考慮する。 ・CADによる図面製作を行う。	
3	・配置図製作 ・模型製作			・設計した建築物を立体的に表現するため、展開図のかき方や、外観仕上げの表現力を身に付ける。 ・他者の図面や模型等を観察し、的確に評価できる能力を身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・設計図書に関する基礎的・基本的な知識を習得し、創造的で美しく正確な設計製図を作成する技能を身に付けている。 ・建築設計製図に関する学習や課題演習、自由設計を通して、製図の基本的な概念や各設計図相互の関連を総合的に理解し、作図手順などの知識を身に付けている。			
思考・判断・表現		・建築工事に使用する設計図書作成において、基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図で表現する力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・設計図書に興味を持ち、建築設計製図の意義や役割を理解し、主体的に学習に取り組み、建築技術者としての心構えや態度を身に付けている。			
評価方法	・授業中の学習意欲や学習態度、製図が期限内に提出されているかなどを評価します。また、図面や模型の正確さや表現力を評価します。 ・自由設計では、テーマやプランニングの面白さも評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○各種競技設計に積極的に参加し、設計能力や技術の向上に努めましょう。 ○授業の時間以外にも放課後や家庭学習等、課題に対する意欲的な取り組みが技術力や表現力を向上させます。 ○身近にある建築物に関心を持ち、常に観察・研究することが、よりよい建築物の構想につながります。 ○課題の提出は、締め切り期限を守りましょう。					